

会計学基礎		講義	教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目、教職科目	科目ナンバリング	21200105 25310103	

1. 授業のねらい・概要

会計は、企業活動や企業の状態を、数値で認識・測定・記録・報告・開示する行為です。また「ビジネスの言語」と呼ばれることもあります。会計は、企業経営や経済社会に不可欠だからです。この授業では、そのような会計の基礎を、出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とします。同時に、新聞・雑誌などから具体的な事象を取り上げて説明します。いずれにおいても、皆さんの積極的な参加を心から歓迎します。

3. 授業計画

1. ガイダンス	9. 第7章 原価計算
2. 序章 会計を学ぼう	10. 第8章 業績管理計算
3. 第1章 財務諸表概論	11. 第9章 意思決定会計
4. 第2章 簿記	12. 第10章 税務会計
5. 第3章 貸借対照表の構図	13. 第11章 監査制度
6. 第4章 損益計算書の構図	14. 第12章 国際会計
7. 第5章 財務諸表分析①	15. 第13章 コンピュータ会計、まとめ
8. 第6章 財務諸表分析②	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回テキストの該当箇所を事前に読んできて下さい（30分程度）。また基礎を身につけるには復習が大切です。前回の授業内容は、配布プリントやノートも使って理解に努めましょう（1時間程度）。もし不明点や疑問点があれば、メールや次の授業で遠慮なく質問して下さい。一緒に解決しましょう。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際は、解答のポイントや出題意図を（試験）終了直後に説明します。

6. 授業における学修の到達目標

会計の基本的な考え方を理解することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点 50%（授業への取組み姿勢など）および期末テストの結果 50%の割合で成績評価を行います。

8. テキスト・参考文献

テキストは、轟日出郎・山口幸三[編著]（2019）『はじめまして会計学』中央経済社を使用します。参考文献は適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

会計学の最初の一步として、まずは会計や簿記を知ってもらい、好きになってもらいたいと思います。したがって受講にあたって、会計や簿記の知識は問いません。出来るだけ分かりやすく丁寧に説明します。

ただ授業は積み上げです。毎回出席されることをお勧めします。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、商社（経理部門）における実務経験も活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおりです。